

てもらうことにしました。町じゅうの人々が喜んで協力してくれたので、病院をつくるお金はすぐ集まりました。こうして須賀川に県立病院ができました。明治六年のことです。

この病院は、そのあといろいろつり変わりましたが、現在は公立岩瀬病院となっています。

伝右衛門たちは、このほかにも町だけでなく地方の役に立つことをしています。たとえば、産馬さんば会社をつくったこともそうです。伝右衛門が生きていた時代は、電気も自動車もない時代で、農家ではどこの家でも馬をかっていました。ものを運んだり、畑をたがやしたりさせるほか、馬小屋にしいたわらを、田や畑にまいて肥料ひりょうにしたのです。

農家の役に立つ力の強いよい馬をいっぱいふやすために、馬を売ったり買ったりするセリ市いちを開きました。伝右衛門たちは、そのため岩瀬郡いんせのほか、西白河郡、安積郡あさか、安達郡あだちの人たちと相談して、四郡産馬会社よんぐんさんばという会社をつくりました。